

市民フォーラム（一般公開企画 ・ 無料）

消費者市民研究部会・行政研究部会・第34回廃棄物資源循環学会研究発表会実行委員会共催

水害の片付けごみの分別について考えよう

地球温暖化の進展に伴い、風水害は頻発化・激甚化しています。床上浸水被害などを受けたら、被災者は床上の家財をすべて屋外に排出し、床下の泥出しや乾燥をしなければなりません。その際、排出された家財の多くは「片付けごみ」になります。

このフォーラムでは、災害廃棄物の中でも多くを占める片付けごみの発生時に着目します。災害廃棄物処理を迅速に行い、かつリサイクル率を上げるためには、被災家屋からの排出時から分別することが有効です。しかし、果たしてそれは可能なのか。どこにどのように集積するのか。また、片付けを手伝うボランティアにはいかに周知するのか。パネリストとともに考えてみませんか。

■日 時: 9月11日(月) 13:30～15:00

■会 場: 第5会場(大阪工業大学 大宮キャンパス 10号館 4F 1041教室)

■プログラム (敬称略)

1.開会の挨拶

2.市民展示の出展団体発表

3. 話題提供

「水害後の片付けについて・課題と提案」

岡山朋子(消費者市民研究部会部会長/大正大学地域創生学科教授)

4.パネルディスカッション

高田昭彦(富士フィルムビジネスイノベーションジャパン/復興ボランティアタスクフォース代表)

高田光康(株式会社東和テクノロジー/公益財団法人廃棄物・3R研究財団研究参与)

コーディネーター:岡山朋子

市民展示会場にて、そのまま各団体との意見交換・質疑応答などを自由に行っていただけます(～18:15)。こちらにも是非、ご参加ください。

テーマ 「大阪・関西万博で広がる施設連携」

環境学習施設研究部会は、全国の環境学習施設を連携することを目的に、2022年5月「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナー(以下、「共創パートナー」とする。)を立ち上げました。本フォーラムでは、2025年日本国際博覧会協会からの基調講演をはじめ、本研究部会のプログラムに賛同して結成された共創チャレンジのチーム紹介等、「TEAM EXPO 2025」プログラムの活動状況や参加方法をご紹介します。

- 日時: 9月11日(月) 15:15~16:45
- 会場: 第5会場(大阪工業大学 大宮キャンパス 10号館 4F 1041教室)

総合司会 環境学習施設研究部会 代表 花嶋 温子 (大阪産業大学)

① 基調講演 「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた取組について」(約40分)

公益社団法人2025日本国際博覧会協会 企画局持続可能性部資源循環課 福原 利樹 氏

② 全国まるごと SDGs パビリオンに賛同し、活動されている共創チャレンジの紹介(約30分)

共創チャレンジ「ゆめほたるかえっこ SDGs パビリオン」
共創チャレンジ「ゆめほたる環境まんが SDGs パビリオン」
国崎クリーンセンター啓発施設(ゆめほたる)

所長 関野 正 氏



共創チャレンジ「Re 食器 SDGs パビリオン」

NPO 法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム

事務局長 小篠 和之 氏



共創チャレンジ「Re 紙容器 SDGs パビリオン」

NPO 法人 エコライフはままつ

理事 高根 美保 氏



③ 共創パートナー「全国まるごと SDGs パビリオン」のご案内、及び共創チャレンジへ向けた全国施設紹介(オンライン施設紹介)のお知らせ

TEAM
EXPO
2025



共創パートナー「全国まるごと SDGs パビリオン」に賛同し、参画をご検討いただける施設のみならず、施設同士の連携や情報交流を促進し新たな共創チャレンジを創出するため、オンラインでみなさまの施設や活動をご紹介していただける機会も設けています。「TEAM EXPO 2025」プログラムや本研究部会の活動にご興味をお持ちの施設や団体のみなさまは、是非ともこの機会をご活用ください。詳しくは、つぎの HP から説明ファイルをダウンロードしてご覧ください。

https://e-ed.jp/OPEN/zenkokushisetushoukai_v02.pdf

Re食器SDGsパビリオンは、環境学習施設展示を3号館1階エントランスホールで体験可能。
分解ワークショップは、10号館5階の1005A教室で体験可能(無料・申込必要)